



富士電機

フィールド・サービスエンジニア職

RECRUITMENT BROCHURE FOR COLLEGE GRADUATES

フィールド・サービスエンジニアとは

お客様に納める製品やシステムの据付後の調整試験・試運転、改造・点検を行い、お客様のニーズに合わせた製品・システムの性能を最大限に引き出す業務を行います。また、納品後も保守・保全、改良、点検から更新に至るまで、お客様の相談に乗り、設備や業務改善の支援を行う一方で、予防保全の立場から設備に潜在する課題の改善提案を行い、安定稼働と効率向上に貢献する業務を行います。



全体業務フローとフィールド・サービスエンジニアの領域



社会のあらゆるフィールドで、 富士電機の製品が活躍しています。

電気、電子、機械、情報を始めさまざまな技術が必要とされており、さまざまな技術者が協業してひとつの製品が成り立っています。

フィールド・サービスエンジニアの仕事は、「発電所」や「製鉄所」のように多数の製品（電動機・計測器・計算機など）を組み合わせで作られた設備（=プラント）の据付後の調整試験・試運転や改造・点検が主な仕事。プラントは国内に限らず海外にも納めているので、グローバルな活躍が期待できます。設備の保守・保全、改良、点検から更新に至るまでお客様の相談に乗り、設備改善の提案を行い、対象設備の安定稼働と効率向上に寄与します。担当するお客様に納めている新製品から古い機種まですべての設備を知り尽くすことが要求されます。



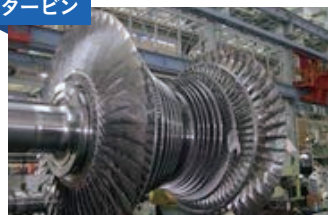
例えば発電所では・・・



発電機



タービン



受変電設備



表示・測定装置

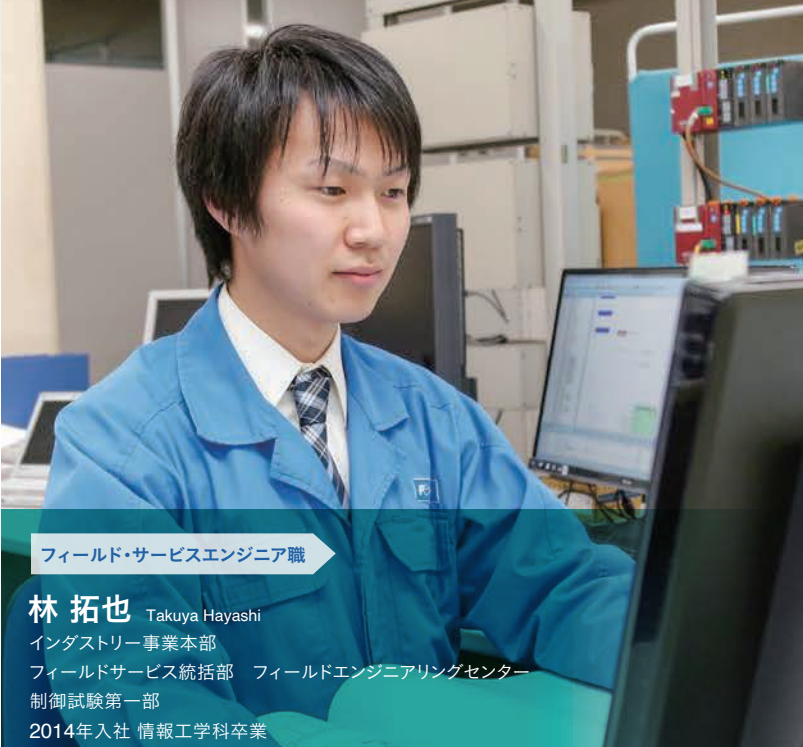


管理システム



制御装置





フィールド・サービスエンジニア職

林 拓也 Takuya Hayashi

インダストリー事業本部

フィールドサービス統括部 フィールドエンジニアリングセンター

制御試験第一部

2014年入社 情報工学科卒業

水門を制御するソフトウェアを開発

富士電機は社会インフラの分野でさまざまなシステムや製品を開発していますが、私が担当するのはダムや堰堤、閘門などの水門を駆動する制御装置、PLCのソフトウェア開発と試験です。ダムは洪水防止だけでなく水力発電、工業、農業のための用水を供給するという機能を持っているので、水門は単純に開閉するのではなく、ダムの水位や雨量、流量などを計算し流量調節を行う必要があります。PLCによって水門をセンチ単位の細かな制御を行います。また洪水時のような危険な状況から街を守るという機能もあり、その責任は非常に大きなものです。

新設以外にも機能向上のためのソフトウェア改修も行っており、現地試験のために全国に出かける仕事でもあります。現地での試験は水門の設備状況や水位・流量による負荷などによって、事前に行った社内試験とは異なる動きをする場合もあり、現状に応じたパラメータの調整などを行います。上位のシステムと通信を行っているシステムもあり、通信プロトコルについても勉強する必要があるなど、学生時代以上に学ぶことの多い仕事ですが、もともと大きなものの制御、社会インフラに関わる仕事が夢であったので、日々の仕事には確かな手応えを感じています。

国内外の鉄鋼プラント制御システムの試験を担当

鉄鋼プラント向けPLC(プログラマブルロジックコントローラ)を用いた制御システムの試験と現地調整の業務に携わっています。当社は若いうちから責任のある仕事を任せてくれる社風があり、私もこれまでに世界中のプラントの試験・調整に関わってきました。

これまでの仕事で特に印象的だったのは、入社3年目に担当したベトナムの案件で、他社が約30年前に納入した設備を当社製品に置き換えるプロジェクトでした。先輩やお客様のサポートを受けてながら、常に一手先を見据えて早め

の対応を心がけ、チームワークでプラントの完成にこぎつけました。プラントが無事に稼働した時は、お客様と抱き合って完成の喜びを分かち合いました。フィールドエンジニアの仕事では、その設備を使うお客様の立場に立って考えることが重要です。こちらの意見をお客様に伝えることで、議論が白熱することもあります。そのようなプロセスが良いものづくりに繋がると考えています。担当する設備には誰よりも詳しくありたいという思いを持って日々の仕事と向き合っています。



フィールド・サービスエンジニア職

山口 あんり Anri Yamaguchi

インダストリー事業本部

フィールドサービス統括部 サービスエンジニアリングセンター

技術第三部

2016年入社 電気工学科卒業

発電所、受変電設備の制御盤の試験を担当

発電所や受変電所に設置されている制御盤、配電盤といった設備の社内試験、現場での納入試験、日常の点検などを担当しています。これらの設備は高電圧・大電流を扱う遮断器や継電器などの機器から構成されており、作業は危険であると共に、社会生活に欠くことのできない機能を果たしているため試験にあたっては正確な作業が必要とされます。図面どおりに配線されているか、設置方法や接続方法に誤りはないか、作業者同士がお互いに確認を取りながら念には念を入れ、万が一にも短絡や地絡がないよう慎重に作業を進めています。

この仕事の面白さは、学生時代に講義で学んだ段階では図面上の記号でしかなかった機器に、現場で実際に機器に触れることで、その役割や機能、構造がクリアに頭に入っていくというところにあります。また、発電設備に関わる仕事は、多くの人の利便性を支え、社会になくてはならないものです。それだけに試験や設置を通じてその機器が運用を始めたときには、社会に電気を届けているという実感と達成感があります。日本のみならず、世界中に富士電機が作った電気を届けていると思うと、自分の仕事の大きさを実感できます。



フィールド・サービスエンジニア職

栗田 匠 Takumi Kurita

インダストリー事業本部

フィールドサービス統括部 東日本カスタマーエンジニアリングセンター

変電CE部

2015年入社 工学部通信工学科卒業

About human resource development system

—— 人材育成制度について

プロフェッショナルの早期育成を目的に、座学から実技まで体系的に整理された専門技術プログラムを行っています。

フィールド・サービスエンジニアに
必要な3本の柱



フィールド・サービスエンジニアのステップ

監理技術者・ 安全衛生責任者	プラントシステムの総合的な現地取りまとめができる。(工事から試験運転までの取りまとめ)
統括作業責任者	複数設備を組み合わせたプラントシステムの現地取りまとめができる。
作業(試験・保守) 責任者	単独設備及び単独システムの現地取りまとめができる。
作業(試験・保守) 担当	作業責任者の指示に従い、与えられた範囲の作業を遂行できる。
新人	作業責任者の指示に従い、作業担当者の補助的な作業を遂行できる。また、電気に関する基礎教育を受講した者。

エキスパート
(お客様対応)

若年層教育

研修カテゴリ

安全衛生教育※	テクニカル教育	マインド教育
■ 統括安全衛生責任者教育※ ■ 職長安全衛生責任者教育※ ■ 電気工事作業指揮者安全教育※ ■ ダイオキシン類ばく露防止特別教育※ ■ 第二種酸素欠乏症など防止特別教育※ ■ 電気取扱特別教育※ ■ 重要基本作業※ など	■ 電気施工管理技術者教育※ ■ 現場代理人教育※ ■ 専門分野別教育(7分野・5階層) ■ 共通技術教育(5分野) ■ 保守・点検技術教育 ■ 新人集合(若年層育成)教育 ■ 出張シミュレーション教育 など	■ ビジネスコミュニケーション教育 ■ コーチング研修 ■ 顧客満足向上(ファン客創造実践)研修 ■ ビジネスリーダー研修 ■ 経験年数別階層研修 など

※ 法的資格認定教育 研修所設備を使用した教育

東京工場 フィールド技術研修所

フィールド・サービスエンジニア職の教育のための専門研修施設があります。この施設では、顧客プラントを模した教育用の機器を備えており、技術者の技術力向上・事故完結型業務の推進強化・現地安全・品質向上を目的とした実習を行っています。



富士電機株式会社

〒141-0032
東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎イーストタワー

人事・総務室 採用センター
E-mail : saiyo@fujielectric.com
TEL : ☎ 0120-004-633 / 03-5435-7224



2025-1